

(一社) 日本応用地質学会 土木地質研究部会 「令和4年度 ミニ講習会」のご案内

本研究部会では土木地質に関する基礎的な研究や教育・技術普及の活動の一環として、下記の通りミニ講習会を企画いたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

- ・主 催：一般社団法人 日本応用地質学会 土木地質研究部会
- ・開催日時：2022年12月22日（木）15:30～17:30
- ・開催方法：ZOOMによるオンライン開催
- ・定 員：100名（先着順 日本応用地質学会会員に限る）
- ・申込〆切：2022年12月15日（木）
- ・参加費：無 料

「地形画像診断の最前線」

- ・講 師：原口 強 氏

東北大学災害科学国際研究所特任教授
中央大学機構教授
大阪公立大学客員准教授



地震、津波、洪水といった自然現象が発生しても、そこに人が住んでいなければ災害とはなりません。人には、「目・耳・鼻・舌・皮膚」の五官を通じ危険を避ける本能が備わっています。

危険を察知し、災害を避けるには、そのハザードが目で見えること、可視化が最も有効です。

山は樹木や森林に、川や海は水に覆われているため、本来の地形を直接的に見ることができませんが、LiDAR システムの力を借りれば、陸域・水域を問わずシームレスに可視化することができます。

災害を未然に防ぐには、住民自身が住んでいる土地に潜むハザードを理解できること、災害発生時の速やかな対応ができることなどが喫緊の課題となります。

また、多くの人々が暮らす、沿岸域・河川域・山麓斜面域にて土木構造物を建設する際には、計画・調査・設計・施工・維持管理段階で課題となる地質リスク要因の早期発見や、リスクの発現回避・低減対策が求められます。これら課題解決にも、オープンデータや、UAV-LiDAR点群データを活用した地形画像診断が有効であり、本講習会では、地形画像診断の最前線と、地質情報のDX化についてお話いただきます。

ミニ講習会への参加申込は、(一社)日本応用地質学会 ホームページまたは、[事前申し込みフォーム](#) からお願いいたします。

QRコードからも申込フォームにアクセスできます ⇒

